

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

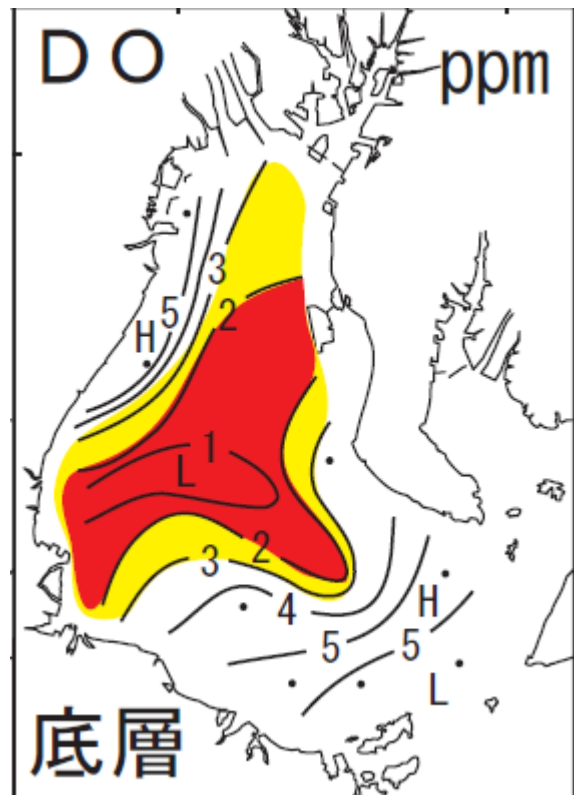
伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、湾中央部を中心に 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

6 月 9 日の調査結果

6 月 9 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 21.6～25.0℃、10m で 18.1～21.1℃、底層で 14.7～21.3℃ の範囲にあり、表層は平年より高め、10m でやや高め、底層では平年並となっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 6.5～10.4ppm、10m で 5.8～8.5ppm、底層で 0.0～5.8ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m でやや高め、底層では平年並でした。

底層では先月の観測時より貧酸素化が進んでおり、湾中央部を中心に 2ppm 以下の貧酸素水塊が拡大していました。成層化が進んでいるため、今後も貧酸素水塊の拡大が予想されます。



底層貧酸素水塊分布図